



2020年6月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月7日

上場会社名 株式会社湖池屋
 コード番号 2226 URL <https://koike-ya.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営管理本部長
 四半期報告書提出予定日 2020年2月14日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 小池 孝
 (氏名) 藤巻 修道
 TEL 03-3979-2116

(百万円未満切捨て)

1. 2020年6月期第2四半期の連結業績(2019年7月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年6月期第2四半期	17,840	4.6	435	61.9	469	51.6	238	64.6
2019年6月期第2四半期	17,054	11.3	269		309		144	

(注) 包括利益 2020年6月期第2四半期 245百万円 (50.2%) 2019年6月期第2四半期 163百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年6月期第2四半期	44.68	
2019年6月期第2四半期	27.15	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年6月期第2四半期	24,479	12,300	49.8
2019年6月期	22,532	12,297	54.1

(参考) 自己資本 2020年6月期第2四半期 12,180百万円 2019年6月期 12,186百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年6月期		0.00		40.00	40.00
2020年6月期		0.00			
2020年6月期(予想)				40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年6月期の連結業績予想(2019年7月1日～2020年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,500	7.5	850	25.5	860	18.8	450	22.2	84.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(注)詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年6月期2Q	5,335,000 株	2019年6月期	5,335,000 株
期末自己株式数	2020年6月期2Q	843 株	2019年6月期	843 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年6月期2Q	5,334,157 株	2019年6月期2Q	5,334,225 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(金額の表示単位の変更について)

当社の四半期連結財務諸表に掲記される科目その他の事項の金額については、従来、千円単位で記載しておりましたが、第1四半期連結会計期間及び第1四半期連結累計期間より百万円単位をもって記載することに变更いたしました。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料は2020年2月14日(金)に当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における業績は次のとおりです。

売上高は、17,840百万円（前年同期比4.6%増）となりました。利益につきましては、営業利益435百万円（前年同期比61.9%増）、経常利益469百万円（前年同期比51.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益238百万円（前年同期比64.6%増）となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりです。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しています。

<国内>

2020年6月期の戦略として打ち出している、高付加価値商品の売上拡大、定番商品等の収益改善、新規商材開発に、引き続き取り組んでいます。当第2四半期連結会計期間においては、東日本で猛威を奮った2019年9月の台風15号及び2019年10月の台風19号による物流への影響が心配された他、消費増税による購買低下が懸念されましたが、堅調な事業展開ができました。

主力のコイケヤポテトチップス等の商品では、物流費をはじめとした各種コスト増加の影響を引き続き受けつつも、価格改定の効果により収益改善に寄与しています。

辛味・酸味市場を牽引する「ムーチョ」ブランドは発売35周年を迎え、辛味・酸味以外のフレーバー開発に取り組み、間口の拡大に努めました。2019年10月には、生胡椒を使用して爽やかなペッパー味に仕上げた「ぺっぱムーチョ クラッシュペッパー」を発売し、2019年11月には海苔の旨さとホトチリの辛さを両方味わうことができる「海苔カラムーチョ スパイシーのり味」を発売しました。

また、「じゃがいも本来の味を楽しんでいただきたい」という思いで、厚切りで素材感を訴求している「PURE POTATO」シリーズでは、2019年11月に北海道のJA（農業協同組合）3社が各JAで栽培しているブランドいもを使用して、「じゃがいも心地 塩とホタテの旨みで（スノーマーチ）」、「じゃがいも心地 塩と北海道産バターで（ひかる）」、「じゃがいも心地 塩と野菜の味わいで（きたかむい）」の3品を食べ比べ企画商品として発売し、ブランド及び厚切りポテトチップス市場の更なる活性化を図りました。

新市場創出のための新規商材として、大豆たんぱく質を使用した唐揚げ風スナック「罪なきからあげ」、じゃがいもの味わいを活かしつつ手が汚れない形状を実現した「HASHED POTATO」をエリアを限定して発売しました。

以上により、国内の売上高は16,278百万円（前年同期比2.2%増）となり、セグメント利益は509百万円（前年同期比30.3%増）となりました。

<海外>

台湾事業では、大手小売チェーンからの販売促進費用の厳しい要求が続く中、収益性の高いコーンや小麦原料の商品拡販が引き続き好調で、売上、利益ともに前年を上回りました。

ベトナム事業では、大手小売チェーンへの商品導入が奏功し、売上が大幅に伸長しています。また、売上の増加に伴い生産量が増加しており、各種原材料の単価交渉やスペック見直し等により製造原価低減も進んでいます。一方、個人商店に対する販売効率改善に時間がかかるなど収益面で課題が残り、エリア戦略の見直しや新たな販売チャネルの開拓を行っています。

タイ事業では、カラムーチョが大手小売チェーンを中心に販売好調で、コストもコントロールできており、2019年5月の事業本格展開後、早期に収益を確保できる体制が整っています。

以上により、海外の売上高は1,562百万円（前年同期比38.9%増）となり、セグメント損失は50百万円（前年同期はセグメント損失114百万円）となりました。

（2）財政状態に関する説明

総資産は、前連結会計年度末に比べ1,947百万円増加し、24,479百万円となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金の増加（1,586百万円）及び原材料及び貯蔵品の増加（250百万円）によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ1,943百万円増加し、12,178百万円となりました。主な要因は、未払金の増加（1,849百万円）によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ3百万円増加し、12,300百万円となり、自己資本比率は49.8%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年8月9日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,295	5,059
受取手形及び売掛金	5,599	7,186
商品及び製品	824	838
仕掛品	—	5
原材料及び貯蔵品	476	726
その他	273	293
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	12,468	14,108
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,079	2,180
機械装置及び運搬具(純額)	2,367	2,637
土地	1,594	1,595
その他(純額)	147	1,245
有形固定資産合計	6,189	7,659
無形固定資産		
その他	408	486
無形固定資産合計	408	486
投資その他の資産		
その他	3,465	2,225
投資その他の資産合計	3,465	2,225
固定資産合計	10,063	10,371
資産合計	22,532	24,479
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,720	3,808
未払金	3,434	5,284
未払法人税等	153	297
賞与引当金	7	137
役員賞与引当金	—	10
その他	691	336
流動負債合計	8,008	9,875
固定負債		
役員退職慰労引当金	336	—
退職給付に係る負債	1,766	1,775
その他	123	527
固定負債合計	2,226	2,303
負債合計	10,235	12,178

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,269	2,269
資本剰余金	2,153	2,153
利益剰余金	7,887	7,912
自己株式	△2	△2
株主資本合計	12,309	12,333
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	40	26
為替換算調整勘定	△57	△86
退職給付に係る調整累計額	△105	△94
その他の包括利益累計額合計	△122	△153
非支配株主持分	110	120
純資産合計	12,297	12,300
負債純資産合計	22,532	24,479

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年12月31日)
売上高	17,054	17,840
売上原価	10,678	10,975
売上総利益	6,375	6,864
販売費及び一般管理費	6,106	6,429
営業利益	269	435
営業外収益		
受取利息	7	7
受取配当金	2	2
投資有価証券売却益	—	47
持分法による投資利益	0	1
その他	36	7
営業外収益合計	45	67
営業外費用		
支払利息	1	1
投資有価証券売却損	—	18
固定資産売却損	1	—
支払手数料	2	7
その他	—	5
営業外費用合計	5	33
経常利益	309	469
税金等調整前四半期純利益	309	469
法人税、住民税及び事業税	155	259
法人税等調整額	△12	△70
法人税等合計	143	188
四半期純利益	166	280
非支配株主に帰属する四半期純利益	21	42
親会社株主に帰属する四半期純利益	144	238

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	166	280
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△38	△13
為替換算調整勘定	24	△31
退職給付に係る調整額	11	10
持分法適用会社に対する持分相当額	△1	△1
その他の包括利益合計	△2	△35
四半期包括利益	163	245
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	139	206
非支配株主に係る四半期包括利益	23	38

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

当社の在外連結子会社は、第1四半期連結会計期間よりIFRS第16号「リース」(以下「IFRS第16号」)を適用しております。IFRS第16号の適用により、借手のリース取引については、原則として全てのリースについて資産及び負債を認識しております。IFRS第16号の適用にあたっては、経過措置として認められている本基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、スナック菓子の製造販売を中心に事業活動を展開し、「国内」、「海外」の2つを報告セグメントとしております。

「国内」は当社が、「海外」においては在外連結子会社が、それぞれ独立した経営単位で事業活動を展開しております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自2018年7月1日至2018年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	国内	海外	計		
売上高					
外部顧客への売上高	15,929	1,124	17,054	—	17,054
セグメント間の内部売上高又は振替高	40	—	40	△40	—
計	15,970	1,124	17,094	△40	17,054
セグメント利益又は損失(△)	391	△114	277	△8	269

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△8百万円はセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年7月1日 至 2019年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内	海外	計		
売上高					
外部顧客への売上高	16,278	1,562	17,840	—	17,840
セグメント間の内部売上高又は振替高	52	—	52	△52	—
計	16,330	1,562	17,893	△52	17,840
セグメント利益又は損失(△)	509	△50	459	△23	435

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△23百万円はセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は前連結会計年度まで食品関連事業の単一セグメントとしておりましたが、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分について、今後の事業展開、経営資源の配分、及び経営管理体制の観点から見直した結果、経営情報をより適切に表示する目的で、従来の食品関連事業の単一セグメントから「国内」、「海外」として記載する方法に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。